

米軍基地環境カルテ

恩納通信所（施設番号：FAC6013）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目次

11. 恩納通信所（施設番号：FAC6013）	11-1
11.1 基本情報	11-1
11.1.1 名称	11-1
11.1.2 所在地、広さ（施設面積）	11-1
11.1.3 施設の概要等	11-1
11.1.4 施設の管理及び用途	11-1
11.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	11-1
11.1.6 土地利用規制図	11-2
11.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	11-2
11.2.1 基地等の土地の状況	11-2
11.2.1.1 地形分類図	11-2
11.2.1.2 表層地質図	11-2
11.2.1.3 土壌図	11-2
11.2.1.4 切盛土分布図	11-2
11.2.2 基地内の施設の使用状況	11-3
11.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	11-3
11.2.2.2 施設等使用履歴	11-3
11.3 基地等の環境状況	11-4
11.3.1 自然環境（植物）	11-4
11.3.1.1 現存植生図	11-4
11.3.1.2 植生自然度図	11-4
11.3.1.3 特定植物群落	11-4
11.3.1.4 重要な種、貴重な種等	11-4
11.3.2 自然環境（動物）	11-4
11.3.2.1 重要な種、貴重な種等	11-4
11.3.3 水利用状況	11-5
11.3.3.1 水利用状況	11-5
11.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	11-6
11.3.3.3 河川及びダムの分布状況	11-7
11.3.4 地下水の状況	11-7
11.3.4.1 地下水基盤面等高線図	11-7
11.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	11-7
11.4.1 事故等の概要	11-7
11.4.2 事故等発生場所	11-8
11.5 環境調査を実施する場合の留意事項	11-8
11.6 その他情報	11-8

11.7 環境等に関する通常監視について	11-9
----------------------------	------

11. 恩納通信所（施設番号：FAC6013）

11.1 基本情報

11.1.1 名称

恩納通信所（施設番号：FAC6013）

11.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和47年5月15日>

所在地：恩納村字恩納

広さ：約599千㎡

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15メモ等）（仮訳）」（1972年5月）

（http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf）を参照

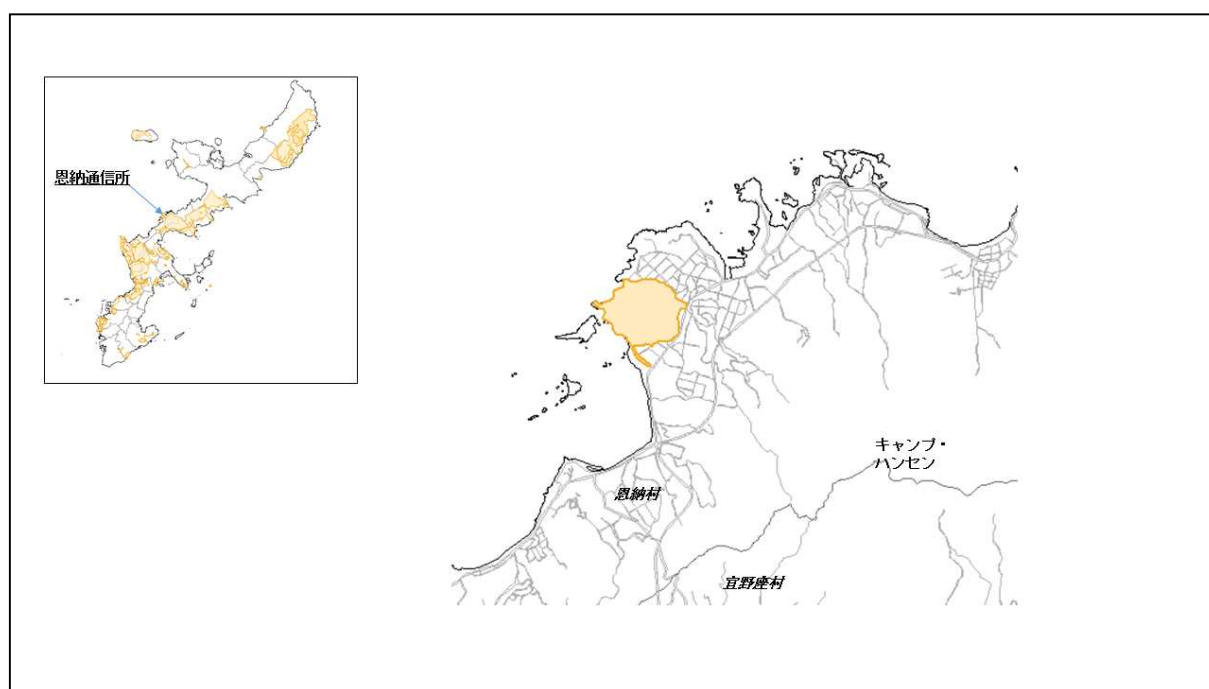


図 11-1 恩納通信所の位置図（昭和47年時）

11.1.3 施設の概要等

平成7年11月30日、全部返還。

11.1.4 施設の管理及び用途

平成7年11月30日、全部返還。

11.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地は万座毛の南側に位置しており、平成10年に民間によるゴルフ場を主とする跡地利用計画の提案があったが、一部地主の同意が得られず、平成11年に計画は断念された。その後、平成14年2月に沖縄亜熱帯計測技術センター施設の整備が完了し、平成20年5月に恩納村ふれあい体験学習センターが建設された。また、平成21年3月に恩納通信所返還跡地利用地主会と外資

系企業が跡地開発の基本合意書に調印し、現在「恩納通信所跡地リゾート計画」に関する環境影響評価を実施中である。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

11.1.6 土地利用規制図

恩納通信所跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「[土地利用規制図B](#)」に示す。

11.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

11.2.1 基地等の土地の状況

11.2.1.1 地形分類図

恩納通信所跡地及び周辺の地形分類図を図面集「[地形分類図B](#)」に示す。

11.2.1.2 表層地質図

恩納通信所跡地及び周辺の表層地質図を図面集「[表層地質図B](#)」に示す。

11.2.1.3 土壌図

恩納通信所跡地及び周辺の土壌図を図面集「[土壌図B](#)」に示す。

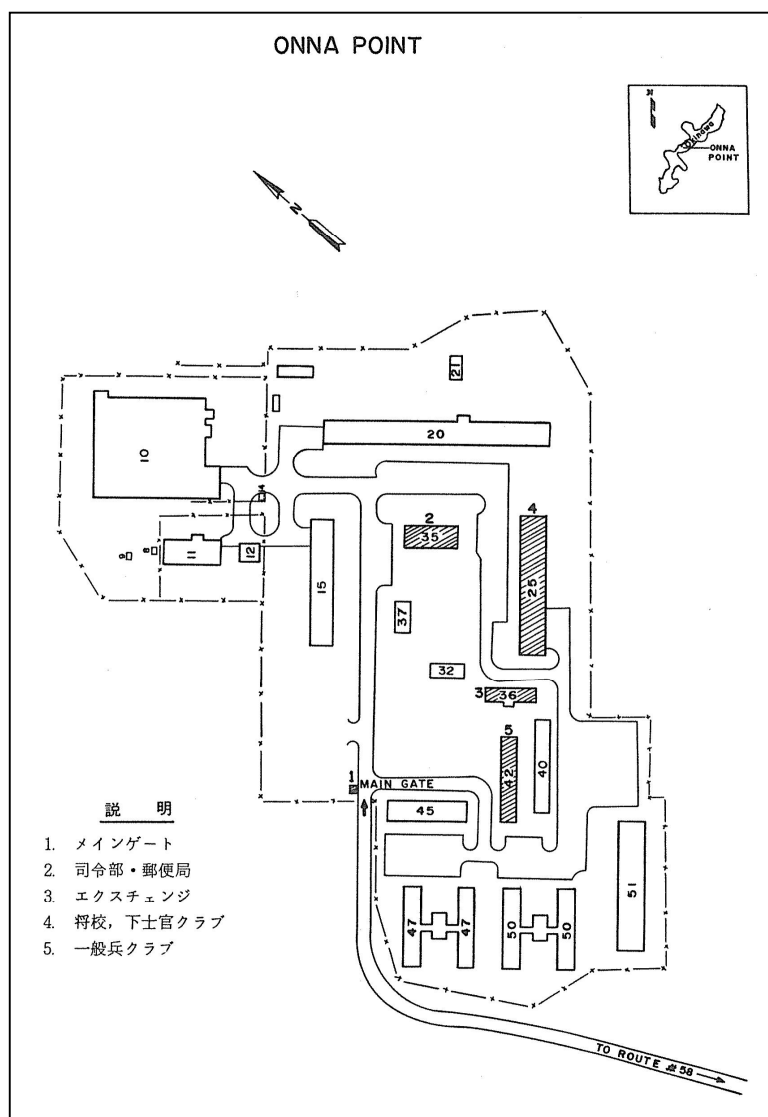
11.2.1.4 切盛土分布図

恩納通信所跡地の切盛土分布図は作成されていない。

11.2.2 基地内の施設の使用状況

11.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

「沖縄の米軍基地」で確認した恩納通信所の施設配置図を図 11-2 に示す。



出典：「沖縄の米軍基地」（昭和50年2月、沖縄県渉外部基地渉外課）より引用

図 11-2 恩納通信所の施設配置図

11.2.2.2 施設等使用履歴

- 昭和28年4月 「恩納ポイント通信所」として使用開始。
- 昭和47年 空軍から海兵隊に移管。
- 昭和47年5月15日 「恩納通信所」として提供開始（使用主目的：通信所及び事務所）。
- 昭和57年3月31日 第3海兵師団偵察大隊がキャンプ・シュワブに移駐。
- 平成7年11月30日 全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成5年12月、沖縄県総務部知事公室基地対策室）、
 「沖縄の米軍基地」（平成25年3月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

<主要建物及び工作物>

建 物：兵舎

工作物：マイクロ・ウェーブ鉄塔、発電所、ヘリパッド

出典：「沖縄の米軍基地」（平成5年12月、沖縄県総務部知事公室基地対策室）より引用

11.3 基地等の環境状況

11.3.1 自然環境（植物）

11.3.1.1 現存植生図

恩納通信所跡地及び周辺の現存植生図を図面集「[現存植生図B](#)」に示す。

11.3.1.2 植生自然度図

恩納通信所跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「[植生自然度図B](#)」に示す。

11.3.1.3 特定植物群落

恩納通信所跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

11.3.1.4 重要な種、貴重な種等

恩納通信所跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成27年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

11.3.2 自然環境（動物）

11.3.2.1 重要な種、貴重な種等

恩納通信所跡地のある恩納村で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は42種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成10年2月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

11.3.3 水利用状況

11.3.3.1 水利用状況

沖縄県企業局による、沖縄島及び周辺の水利用状況を図 11-3 に示す。

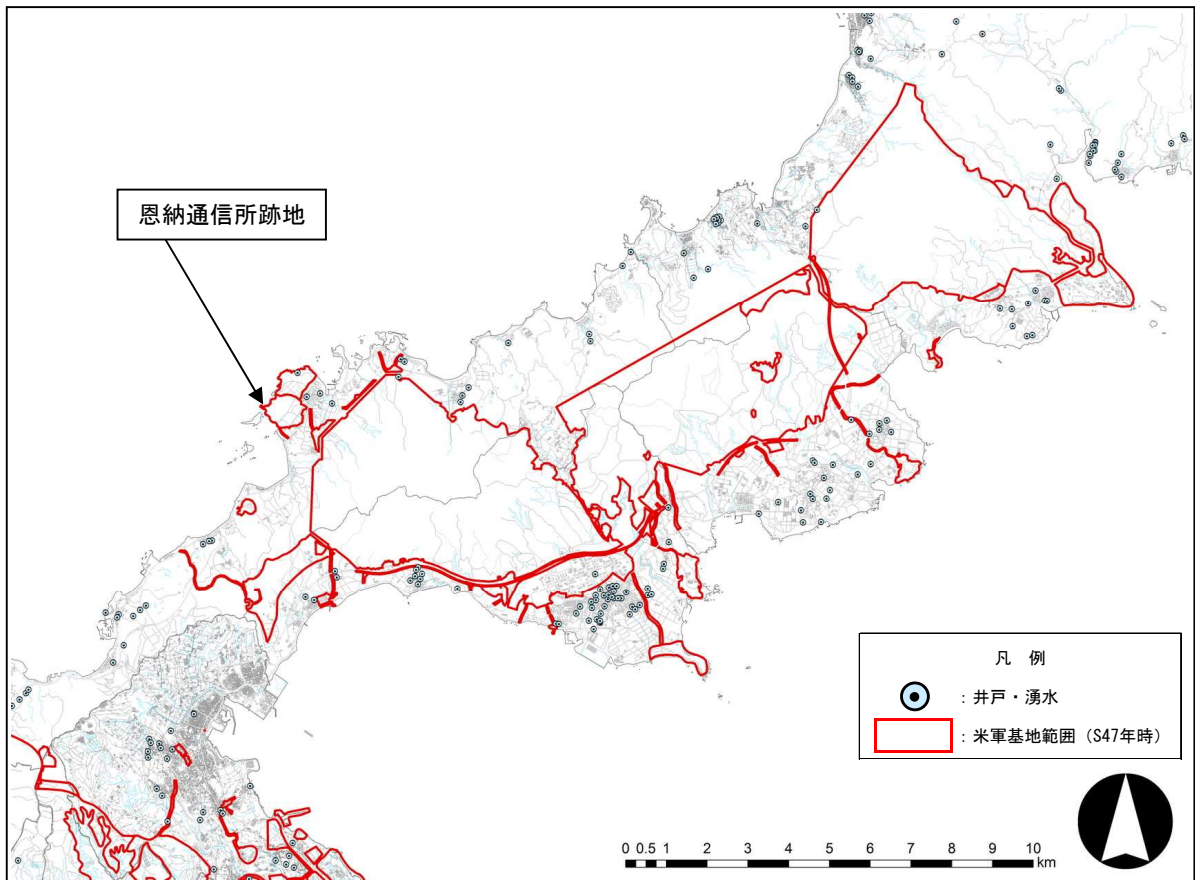


出典：「2015<平成 26 年度決算版> 環境報告書」（平成 28 年 3 月、沖縄県企業局配水管理課）を参照

図 11-3 沖縄島及び周辺の水利用状況

11.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

恩納通信所跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 11-4 に示す。



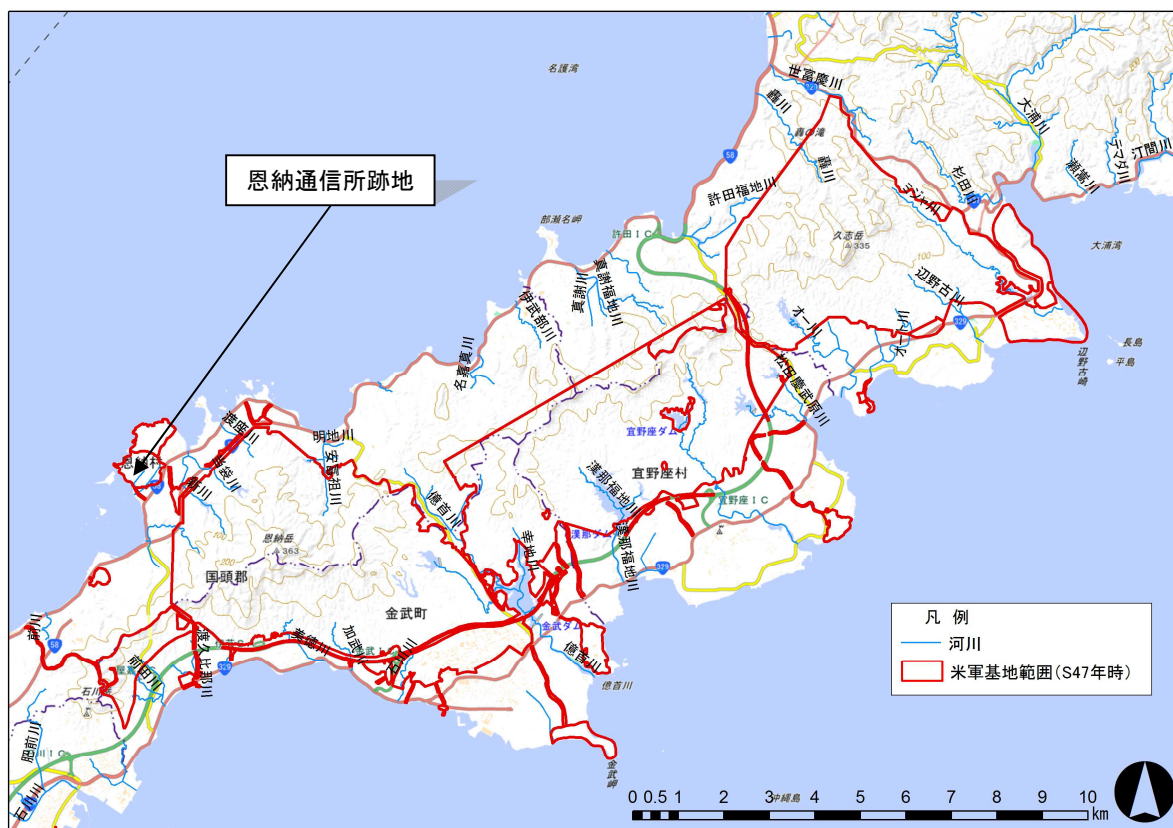
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、第 269 号）」
注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 11-4 恩納通信所跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

11.3.3.3 河川及びダムの分布状況

恩納通信所跡地及び周辺の河川、ダム分布状況を図 11-5 に示す。恩納通信所跡地及び周辺に、二級河川、準用河川、国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」
 出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
 「沖縄の米軍基地関係資料（地位協定に基づく提供施設）」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、
 「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部）を参照

図 11-5 恩納通信所跡地及び周辺の河川、ダム分布状況

11.3.4 地下水の状況

11.3.4.1 地下水基盤面等高線図

恩納通信所跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図は作成されていない。

11.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

11.4.1 事故等の概要

恩納通信所及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の概要を表 11-1 に示す。恩納通信所では、黙認耕作地農道で模擬地雷の爆発事故が確認された。

表 11-1 恩納通信所及び周辺における環境関連事故等の概要

発生年月日	発生場所	概要	備考
昭和 55 年 5 月 13 日	恩納村	恩納通信所内の黙認耕作地農道で、模擬地雷が爆発した。	模擬地雷爆発

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）を参照

その他、米軍基地に起因する被害（復帰後）として、恩納村（南恩納）では、恩納通信所から排出されるし尿水や、機械洗浄等が沿岸汚染の一因となっていた。

また、平成 7 年 11 月 30 日の返還後に行われた既存建築物の解体及び土地の復元工事中に、汚水処理槽内の汚泥や流出口付近からカドミウム、水銀、PCB、鉛、ヒ素等の有害物質が検出されたとの報告があった。

出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 50 年 2 月、沖縄県渉外部基地渉外課）、
「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

11.4.2 事故等発生場所

恩納通信所及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

11.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

11.6 その他情報

沖縄県が、米国立公文書記録管理局（National Archives and Records Administration, NARA）（以下、「NARA」と言う。）で収集した在日米軍関係資料のうち、恩納通信所及び周辺に関する環境関連情報の概要を表 11-2 に示す。

恩納通信所及び周辺については、以下に関する資料が確認された。

表 11-2 恩納通信所及び周辺に関する環境関連情報の概要（NARA 収蔵）

年月日	場所	資料の種類	概要
1972 年	—	写真	恩納通信所（Onna point）の空中写真。
1963 年 11 月 29 日	トラップ及び射撃場	図	恩納通信所のトラップ及び射撃場（Trap & Firing Ranges）配置計画図。

11.7 環境等に関する通常監視について

在沖米軍施設・区域に起因する環境汚染を防止するため、沖縄県では基地排水等の監視、事故時の調査を実施し、水質汚濁の状況把握に努めている。

恩納通信所におけるこれまでの調査で、基準に適合しなかった結果の概要を表 11-3 に示す。

表 11-3 米軍基地排水調査における基準不適合結果の概要

調査地点名	調査年月日	項目	値	基準
通信所排水溝	昭和 51 年 9 月 17 日	大腸菌群数	$5 \times 10^5 \text{ coli/cm}^2$	排水基準

◆ 一律排水基準

大腸菌群数（日間平均 3,000 個/cm³）

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、

「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、

「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

